

決算概要

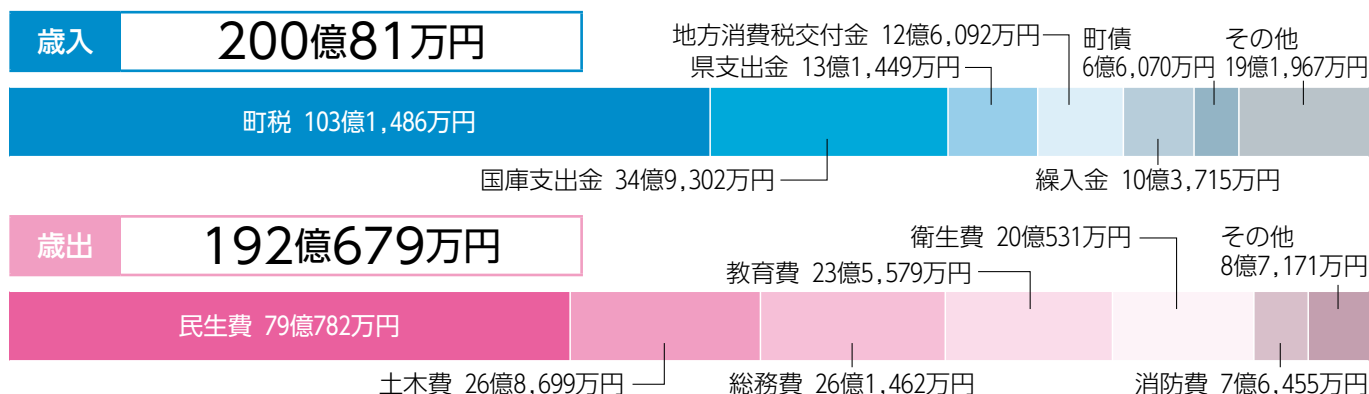
令和7年度 町の家計簿



▲詳細

一般会計 7億9,402万円の黒字

歳入は、個人住民税や法人住民税が増収となったほか、児童手当負担金や物価高対応子育て応援手当事業費補助金の増などが要因で昨年度に比べ13億1,629万8千円の増、歳出も同様に、児童手当扶助費や物価高対応子育て応援手当事業費、旧不二精機製造所跡地における地歴調査および土壌汚染状況調査や解体工事設計に係る事業費の増などが主な要因で9億9,860万5千円の増となりました。



用語解説

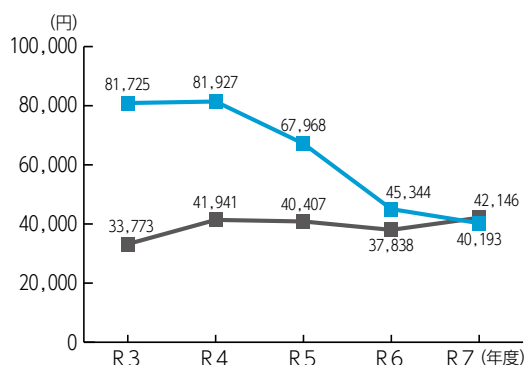
- 民生費** 児童・高齢者・障がい者福祉など
- 土木費** 道路や河川、公園の整備・維持管理など
- 総務費** 行政の運営、戸籍や徴税、選挙など
- 教育費** 学校教育や生涯学習、スポーツ振興など
- 衛生費** 健康診査や予防接種、ごみ処理など
- 消防費** 消火・救急活動、消防団の活動費など
- その他** 災害復旧や諸支出金、予備費など

町の貯金と借金

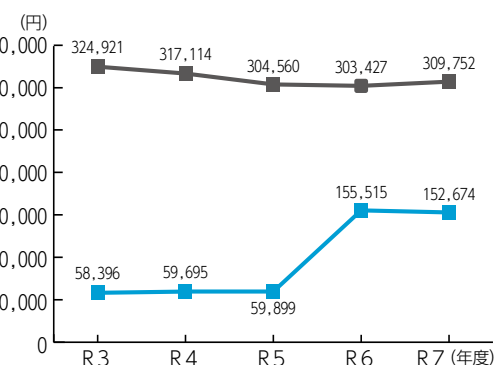
近年の物価高騰や人件費の上昇などの影響によりさまざまな事業費が高騰しており、これらに対応するため財政調整基金^{※1}を取り崩していることから、財政調整基金残高は減少傾向にあります。

また、地方債^{※2}残高は、令和6年度に土地取得事業特別会計における旧不二精機製造所跡地の用地取得に係る借入を行ったことにより増加しましたが、依然、近隣市町と比較して低い水準を保っています。

町民1人当たりの財政調整基金残高(貯金)



町民1人当たりの地方債残高(借金)



町の行財政のあり方をゼロベースで見直すための行財政変革に取り組み、令和8年度当初予算では、経常経費2億円の削減などを実施しています。

※1 年度間の財源不足に備えるための町の貯金 ※2 地方公共団体の借金の総称（町の場合は町債）

※3 沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、函南町、清水町を平均化したもの



令和7年度に実施した主な事業

ベルフォーレ大規模改修に向けた設計



こども誰でも通園制度の開始



桃沢グラウンド電光スコアボードの整備



都市計画道路高田上土狩線下土狩工区の供用開始



旧不二精機製造所跡地の解体準備(4,200万円)
物価高騰対応水道基本料金の減免(7,700万円)

クレマチスの丘利活用の推進(270万円)
大いちょう通りの無電柱化(1億5,000万円)

特別会計・公営企業会計

特別会計とは、それぞれ特定の事業を行うために、一般会計と区別して管理し事業を行う会計です。
水道事業および下水道事業は、地方公営企業法の適用を受け、企業会計方式が採用されています。

特別会計	区 分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
	国民健康保険事業		32億776万9千円	31億8,093万2千円	2,683万7千円
	後期高齢者医療		10億7,382万2千円	10億5,784万1千円	1,598万1千円
	介護保険事業		33億1,029万1千円	31億9,984万円	1億1,045万1千円
	土地取得事業		4億5,994万9千円	4億5,994万9千円	0円
公営企業会計	区 分		収入決算額	支出決算額	収入支出差引額
	水道事業	収益的（運営面）	5億5,824万円	5億1,290万7千円	4,533万3千円
		資本的（設備面）	4,622万4千円	5億7,007万2千円	－5億2,384万8千円
	下水道事業	収益的（運営面）	8億562万8千円	7億4,617万2千円	5,945万6千円
		資本的（設備面）	3億7,710万3千円※	3億9,162万5千円	－1,452万2千円

※翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額1,730万円を除く。

☎企画財政課 989-5503